

山北小学校
北小学校より

山北っ子

児童一人一人が輝き、夢実現

H31. 3. 20
第13号

文責
淵上 佳宏

平成三十年度が終了します

桜のつぼみもふくらみ、本格的な春を迎えようとしています。そのような中、平成三十年度の教育活動が終了しようとしています。



一年間を振り返ると、どの学年にも教育指導の足跡があり、児童一人一人の成長を強く感じることができました。その成長の様子は、通知表「あゆみ」でお知らせしますので、ぜひお子様と一緒にご覧ください。

ところで、「西郷（せご）どん」こと西郷隆盛の名言に「何度もつらく苦しい経験をしてこそ、人の志は堅くなるのだ」という言葉があります。目標を達成するためには、つらく苦しい時があっても、歯をくいしばって努力することが必要で、それを乗り越えることで、さらに目標達成への意志が強くなるという意味だと解釈しています。

近年、子供たちの「レジリエンス」が低下していると言われています。「レジリエンス」とは、「回復力」「復元力」または「弾力性」とも訳され、ストレスなど外的な刺激に対する柔軟性を表す言葉で、その背景に「子供につらく苦しい思いをさせたくない」という風潮があるのではないかと指摘する教育評論家

もいます。ただし校長は、その指摘に同感する部分を持ちつつも、そもそも子供たちが目指すべき目標（志）を描けないことにも、一つの要因があるように感じています。

保護者の皆様には「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。その結果につきましては、今月一日の学習発表会の後の全体会で説明させていただいたところです。また、同七日には、第二回学校評議員会を行い、三人の評議員の皆様から貴重なご意見もいただきました。これらの結果やご意見は、次年度以降の本校教育に反映させていきたいと考えております。その際、前述したことも踏まえ、本校では「キャリア教育」の視点をより重視した教育を推進する必要性も見えて参りました。

保護者や地域の皆様のご理解やご協力に支えられた本校の教育活動を、いかに子供たち一人一人の「生き方」につなげていくのか。そのための「生きる力」をいかに育成していくのか。次年度へ向けてしっかりとカリキュラムをマネジメントし、本校教育目標の達成につなげて参りたいと考えております。

四月からすべての児童が、一つ階段を上がります。中学生になる六年生も含めて、次の一年で、子供たち一人一人にどのような成長が見られるか楽しみです。今後も地域・保護者の皆様の負託に応えられるよう、山北小学校は力強く前進して参ります。一年間、誠にありがとうございました。また、次年度もよろしくお願いいたします。

ありがとう六年生！明後日は卒業式

先日、六年生が手作りの会食会を催してくれました。全員の先生方への感謝を自分の言葉でしっかりと述べる姿に成長を感じたひとときでした。今年度一年間、様々な行事や活動で、後輩のお手本となり、知・徳・体のバランスよく自分を伸ばしてきました。

これから先、楽しいことばかりでなく、つらいこともあると思います。しかし、仲間と支え合いながら、きつと乗り越えていってけると信じています。山北小はいつまでも皆さんを応援しています。

卒業おめでとう！



お別れ会で感謝の気持ちを表す3年生

<四月の主な行事>

- 4月 8日(月) 就任式 前期始業式
- 4月 9日(火) 入学式
- 4月12日(金) 振替休業日 4/13分
- 4月13日(土) 授業参観 PTA総会
- 4月18日(火) 全国学力学習状況調査
- 4月19日(金) 1年生を迎える会【弁当】
- 4月22日(月) 家庭訪問(白木・西安寺)
- 4月23日(火) 家庭訪問(上白木・原倉)
- 4月25日(木) 家庭訪問(西原倉東)
- 4月26日(金) 家庭訪問(二俣東・二俣西)
- ※給食が実施されない日
- 4/8(月)、9(火)、13(土)、19(金)